

## 農林水産統計調査におけるPDCAサイクル点検・評価チェックリスト

政府統計コード	00500215
基幹・一般の別(選択記入)	基幹統計調査
調査の名称	作物統計調査(令和3年産麦類(子実用)の作付面積及び収穫量)
政府内における調査結果の利活用状況 ※該当するものを選択(複数選択可)	<input type="radio"/> 重要な政策の立案・実施・評価の直接の根拠資料として利用
	<input type="radio"/> 国が給付する手当や給付金の算定根拠として利用
	<input type="radio"/> 月例経済報告に利用
	<input type="radio"/> 基幹統計の作成に利用
	<input type="radio"/> 基幹統計以外の重要な統計の作成に利用
	<input type="radio"/> その他(現状把握や麦関連の施策立案の参考資料等として活用)
特記事項	

点検・評価項目	点検・評価事項等	調査計画との整合性		不整合が生じている場合の対応状況			
		整合／不整合 (選択記入)	「整合／不整合」欄が「不整合あり」の場合、 その概要等(選択・自由記入)		対応方法 (選択記入)	対応状況 (選択記入)	左記対応の概要(自由記入)
I 調査計画との整合性確保等の観点	1 調査の目的	整合	結果の利活用実態 (特記事項)	その他 ( )			
	2 調査対象の範囲※	整合	調査対象地域 その他 ( ) (特記事項)	調査対象産業			
	3 報告を求める個人又は法人 その他の団体(報告者)の数等※	整合	母集団情報 全数層・抽出層の設定 その他 ( ) (特記事項)	抽出方法・抽出基準 対象数の算定			
	4 報告を求める事項及びその 基準となる期日又は期間※	整合	調査票 調査期日・期間 (特記事項)	調査事項 その他 ( )			
	5 報告を求めるために用いる 方法※	整合	調査方法 民間委託の範囲 (特記事項)	調査系統・組織 その他 ( )			
	6 報告を求める期間※	整合	調査実施期間(始期・終期) 調査の周期 (特記事項)	調査票の提出期限 その他 ( )			
	7 集計事項※	整合	未集計 復元推計 (特記事項)	未公表 その他 ( )			
	8 調査結果の公表の方法及び 期日※	整合	公表実施時期 e-statの掲載 その他 ( ) (特記事項)	公表媒体 閲覧表			
	9 使用する統計基準	整合	独自基準の採用 その他 ( ) (特記事項) 調査計画上、統計基準を使用することになっていない。	独自基準の説明			
	10 調査票情報の保存期間及び 保存責任者	整合	保存期間 保存方法 (特記事項)	保存責任者 その他 ( )			
	11 立入検査 (基幹統計調査のみ)	整合	立入検査対象事項 (特記事項)	その他 ( )			
12 不整合が生じていないものの、 改善を検討(予定)している事項		検討(予定)している事項の有無 (選択記入)	検討(予定)している事項の概要 (自由記入)	対応方法 (選択記入)	対応状況 (選択記入)	左記対応の概要(自由記入)	
		なし					

(注) 「※」を付している一般統計調査の点検項目については、調査事項の10%未満の変更等、承認を要しない「軽微な変更」の範囲や公表内容との整合性に留意して点検を実施。

II 必要な精度の確保・向上の観点	1 調査の実施目的を確保するための精度管理の実施状況	目安としている指標の設定状況			目安としている指標の具体的推移 (自由記入。別紙も可)		
		精度管理の目安としている指標区分 ※該当するものを選択 (複数選択可)	目安としている指標の具体的な設定内容・考え方等 (自由記入。別紙も可)	目安としている指標の設定時期 (自由記入)	今回調査 (又は前回調査)	前回調査 (又は前々回調査)	前々回調査 (又は前々前回調査)
		達成精度(実績精度)	作付面積調査 全数調査のため、目安とする指標は設定していないが、回収率(実績)は右記のとおり。	作付面積調査 目安とする指標は設定していない。	作付面積調査 回収率 100%	作付面積調査 回収率 98.9%	作付面積調査 回収率 99.5%
		回収率・回答率					
		回収標本数					
		カバレッジ	収穫量調査 農協等の関係団体への全数調査及び農林業経営体への標本調査(関係団体の取扱数量が8割未満の都道府県のみ)を実施することとしているが、大部分の都道府県において、関係団体の取扱数量の割合が8割を超え、標本調査を行っていないことから、実績精度の算出は行っていない。なお、関係団体への全数調査の回収率(実績)は右記のとおり。	収穫量調査 前回までは、2015農林業センサス結果を母集団として、平成29年産調査実施前に左記の標本設計を実施、今回は2020農林業センサス結果を母集団として、令和3年産調査実施前に左記の標本設計を実施。	収穫量調査 回収率 94.5% (令和3年産調査)	収穫量調査 回収率 94.5% (令和2年産調査)	収穫量調査 回収率 94.3% (令和元年産調査)
		その他					
		○ 設定なし					